

国立大学法人東海国立大学機構

(富士通株式会社との包括的な産学連携に関する協定書を締結)

【概要】

国立大学法人東海国立大学機構は、富士通株式会社と、SDGsやSociety5.0の実現に向け、地域に密着した健康と医療の好循環モデルの構築によるウェルビーイング社会の創生や、人類の活動圏が宇宙に広がる近未来を見据えた深宇宙活動における未知の課題を解明する課題探索や技術開発などに関する包括協定を2023年2月24日に締結しました。

東海国立大学機構の健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点(以下、C-REX)が持つライフデザインの研究実績および東海圏の医療機関や自治体との連携力と、富士通のAIなどの先進テクノロジーや富士通Japan 株式会社の電子カルテシステムなどから取得するヘルスケアデータを活用した患者中心のエコシステム形成により、ヘルスケア分野における地域課題の解決とサービスの高度化を進め、ウェルビーイング社会の創生を目指します。

宇宙活動における課題探索や技術開発では、名古屋大学宇宙地球環境研究所(以下、ISEE)が持つ世界トップクラスの宇宙天気予測モデルや衛星および地上観測データベースと、富士通のスーパーコンピュータによる大規模シミュレーション技術やAIを用いたデータ解析技術により、宇宙天気予報シミュレーションの高度化や高速化とともに、予報を支える人材の育成や制度化に取り組んでいきます。



両者は、本包括協定に基づき、互いの技術やサービス、地域のフィールドやネットワークを活用した活動を深化させ、テクノロジーとデータを高度に連携させた人を中心とする持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/2/25	中日	東海国立大学機構×富士通 スパコンやAI活用 技術開発へ包括協定
2023/2/26	中日	富士通と協定結び宇宙研究など促進 東海国立大学機構
2023/2/27	日刊工業	健康・宇宙研究 包括協定結ぶ 東海国立大機構・富士通
2023/2/28	日本経済	東海国立大学機構と富士通 医療・宇宙分野で提携 データ分析技術生かす